

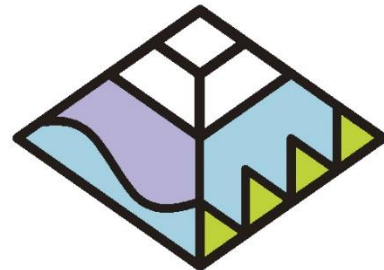
# 山梨県総合計画

2021年改定版

(基本的事項)

案

## 概要



YAMANASHI

山 梨 県

## 1. 現状

- 新型コロナウイルス感染症は、社会生活に甚大な影響
  - ・医療提供体制のひっ迫
  - ・通勤・通学の制限
  - ・感染者等への差別 など
- ソーシャルディスタンスやマスクの着用など新しい生活様式が定着
- テレワークや遠隔教育などデジタル化が急速に進展



- 総合計画を策定した時期（2019年12月）と現在とでは、社会スタイルや経済活動、個人の価値観などが大きく変化

## 2. 長期的展望

- （1）感染症の世界的大流行による社会の変容
  - ・若者から高齢者まで孤立感を抱く個人が増加
  - ・デジタルトランスフォーメーション（DX）の加速化
  - ・コミュニティと行政が果たす役割の変化
  - ・地域資源を活かした二拠点居住の推進
- （2）グローバル化の展開
  - ・国内外でサプライチェーンの多元化・強靱化
- （3）第4次産業革命と新たな社会経済システム
  - ・第5世代移動通信システム（5G）の利活用
- （4）誰もが活躍できる社会づくりと社会保障制度の改革
  - ・「新たな日常」を支える社会保障の構築
- （5）地球温暖化への対応と持続可能な開発目標（SDGs）
  - ・「2050年カーボンニュートラル」宣言
- （6）安全な暮らしの確保
  - ・災害時における感染症を踏まえた避難
- （7）経済活動や暮らしを支える交通ネットワークの構築
  - ・地域の魅力を高める効率的な移動環境の整備
- （8）人口減少抑止への挑戦と地方創生
  - ・感染症による意識・行動変容を踏まえたひと・しごとの流れ

感染症に対して強靱な社会の実現を追求

## 3. 基本理念

本県の目指すべき姿

『県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし』

### ◇豊かさ

- ・心身の健康
- ・快適な居住環境
- ・恵まれた人間関係
- ・時間的なゆとり
- ・収入や財産が多いこと
- ・恵まれた自然

### これからは更に

- ・信頼してあらゆるサービスを活用できること
- ・コミュニティなどを通じて孤立しないこと

県民、事業者、コミュニティ、行政が地域の課題を共有する中で信頼関係を構築し、安全で安心して暮らすことができること

信頼

安全

安心

加速した波に乗り  
“かえる”



互いを理解し認め、  
安全・安心な生活と  
経済を両立

「誰一人取り残さない」  
持続可能な社会  
(SDGsの推進)

## 4. 山梨の将来像

- （1）価値を生み出す産業
  - ・製造・流通などのデータの共有による企業間連携やデジタル技術の活用による「観る」を超えた新たな体験の創出
- （2）一人ひとりの可能性を広げる教育
  - ・ICTも活用し、一人ひとりに向き合ったきめ細かな質の高い教育の実現
- （3）多様性が強みとなる共生社会
  - ・通信環境が整備されリモートワークが普及しており、旅を楽しみながら自然豊かな観光地やリゾート地など好きな場所で働くことが可能
- （4）将来に向け持続可能で安心できる生活
  - ・未知なる感染症が発生した際も、過去の経験や知見を活かした対策の実施により、社会経済活動が維持・拡大
- （5）快適な生活空間
  - ・移住者や外国人をはじめ誰もが地域住民の一員として、交流や体験を通じて孤立することなく、安心して暮らせるコミュニティが形成
- （6）人口の将来展望（人口ビジョン）
  - ・二拠点居住や移住の地として選択され、安心して仕事や生活を送ることが可能

## 5. アクションプラン

### ～産業の振興による県内経済の活性化～

- 戦略1 攻めの「やまなし」成長戦略**
- 【政策1】 やまなしを牽引する産業の育成
  - 【政策2】 観光産業の振興
  - 【政策3】 農業の成長産業化
  - 【政策4】 林業の成長産業化
  - 【政策5】 地場産業や経済を循環させる産業の強化

### ～次代を担う人材の育成・確保～

- 戦略2 次世代「やまなし」投資戦略**
- 【政策1】 一人ひとりの個性を生かした教育の推進
  - 【政策2】 産業を支える人材の育成・確保
  - 【政策3】 文化芸術やスポーツの振興による可能性の発揮

### ～誰もが生涯を通じて活躍できる環境の整備～

- 戦略3 活躍「やまなし」促進戦略**
- 【政策1】 誰もが個性や能力を発揮できる環境の整備
  - 【政策2】 希望を叶える子育て支援等の充実
  - 【政策3】 地域へのひとの流れの強化

### ～安全で安心して暮らすための保健・医療・福祉の充実と持続可能な社会への転換～

- 戦略4 安心「やまなし」充実戦略**
- 【政策1】 感染症に対して強靱な社会づくり
  - 【政策2】 健康・命を守る保健医療の確保
  - 【政策3】 地域で安心して自分らしく暮らすことができる福祉の充実
  - 【政策4】 環境と調和した持続可能な社会への転換

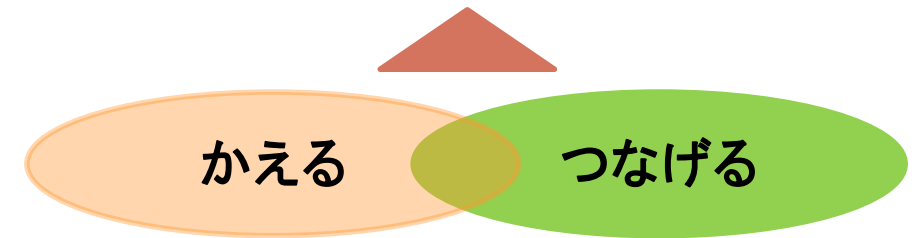
### ～産業や生活の基盤づくり～

- 戦略5 快適「やまなし」構築戦略**
- 【政策1】 産業・生活を支える交通・通信インフラの充実
  - 【政策2】 災害に強い強靱な県土づくり
  - 【政策3】 良好な生活環境と地域を支えるコミュニティづくり

## 《見直しの主な視点》

変わらぬ理念

「県民一人ひとりの幸せの実感」の實現



加速させる

- 複数拠点で生活できるまちづくりの推進
  - ・サテライトオフィス等の整備
  - ・ワーケーションの推進

- デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
  - ・IoT、AI等の導入・活用
  - ・通信環境(5G)の整備

変化させる

- 未知なる感染症への対応
  - ・専門機関の設置
  - ・認証制度の定着

- 社会や地域でのつながりの強化
  - ・誰もが孤立しない地域づくりへの支援
  - ・地域ボランティア活動等への支援

## 加速 1

### 複数拠点で生活できるまちづくりの推進

サテライトオフィスの整備等が進むことにより、多様なライフスタイルが可能となり、二拠点居住や移住を進める。

- 1 二拠点居住の推進
- 2 サテライトオフィス等の整備支援
- 3 空き家利活用の促進
- 4 起業・創業に対する支援
- 5 ワークেশョンの推進
- 6 少人数教育による質の高い教育の推進

社会の隅々までICTの利活用が浸透し、蓄積されたデータが有効に活用され、社会全体の変革を進める。

- 1 DXの推進
- 2 IoT、AI等の導入及び活用の支援
- 3 5G基地局整備の促進
- 4 ICTを活用した教育の推進
- 5 スマート農業の推進
- 6 県内企業等のテレワーク導入の支援

## 加速 2

### デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進

### 未知なる感染症への対応

## 1 変化

専門機関による体制整備などにより、感染症に対して強靱な地域社会への移行を実現する。

- 1 山梨県CDCの設立
- 2 感染症対応に係る医療物資の備蓄
- 3 やまなしグリーン・ゾーン認証の推進
- 4 オンライン診療の推進
- 5 若手研究者の育成
- 6 福祉施設等の感染症対策の強化

県民、企業、NPOなど多様な主体の交流・連携が深まり、地域コミュニティに溶け込み、豊かさを実感できる生活を実現する。

- 1 やまなし地域づくり交流センターの運営
- 2 地域づくりに関する人材の育成
- 3 介護予防、健康づくりの推進
- 4 日常生活の相談
- 5 地域ボランティア活動等への支援
- 6 市町村・民間団体との協働による生活支援



### 社会や地域でのつながりの強化

## 2 変化